

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症児デイサービスmerry（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年12月19日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	日々の支援に関しては詳細に記録をするよう努めています。また、その記録をもとに職員会議を毎日行い、支援の検証や改善、ご家族への共有に漏れないように確認をしております。	紙媒体からICT化を図ったことで、情報共有等がはかりやすくなった一方で、記録が緩いという印象を受ける可能性はあるので、引き続き検証等は行っていきます。また、それでも入力漏れ等がないわけではないので、引き続き確認の体制を強化していきたいです。
2	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	地域へのイベントは積極的に開催しており、重症児や医療的ケア児に対する理解を深めていただきつつ、事業所としても地域に貢献できるような事業運営を心がけています。	広報活動を進め、より多くの地域住民の方に事業所について知っていただくことで、引き続き開かれた事業運営に努めていきたいです。
3	活動プログラムを固定化しないように作成している	音楽療法士が配属していることにより、音楽メインの活動に力を入れています。 1週間でプログラムを組んで、全員が音楽の活動に触れる機会を提供しています。 ピアノや楽器に触れることで一人一人の個性を感じれるようにしています。	音楽療法士以外でも活動ができるように日々スタッフにレクチャーしています。 毎日の活動で音楽が楽しめるように今後もスタッフ育成などに力を入れていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	第三者による外部評価を現在は実施できていないためその方法を模索していく必要があると思います。	他事業所の状況をうかがいつつ、外部評価の機関を模索していきたいです。
2	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	移行支援が必要な利用者さんには各機関で連携を図っておりますが、管理者等での情報共有にとどまっております。職員全体への共有までは積極的に進めておらず、認知が低いことが課題だと考えます。	移行支援の勉強会や、実際に行っている移行支援についての報告の場を設けることで、その取り組みを他職員にも周知・共有できるようにしていきたいです。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	地域の行事等には参加できていますが、子ども同士の活動の機会を設けるには至っていないため、工夫が必要だと考えます。	イベントや近隣の園との交流等を通して、安全に留意しつつ、障がいのない子ども同士の交流の機会を設けていけるようにしていきたいです。